

泊発電所の地震動評価への対応について (標準応答スペクトルを含めた対応)

2021年6月16日
北海道電力株式会社

【地震動評価への対応】

- ・泊発電所の地震動評価については、現在、積丹半島北西沖の断層による地震動評価を含む、敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について審査いただいている。(令和3年3月19日審査会合におけるコメントに対してご説明予定)
- ・令和3年4月21日の基準類改正により取り入れられた標準応答スペクトルについては、敷地ごとに震源を特定して策定する地震動の審査に引き続いてご説明したいと考えており、以下の方針にて対応する。
- ・「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」および「標準応答スペクトルに基づく地震動」の審査結果を踏まえて、基準地震動の策定結果をご説明する。

【標準応答スペクトルへの対応方針】

- ・令和3年4月21日原子力規制委員会にて標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る基準類改正が決定、同日施行されるとともに、令和3年4月26日に原子力事業者に対して指示文書が発出された。
- ・泊発電所においては、令和3年4月26日に受領した指示事項に基づき、令和4年1月20日までに補正を行う。
- ・上記補正は、平成25年7月の設置変更許可申請に対して、基準地震動に関し、標準応答スペクトルによる評価を行うという方針及び当該方針に基づいて行った評価結果に関連する本文、添付書類六の「地震」及び「原子炉建屋基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価」を補正する。(次頁に補正概要を示す。)
- ・その他の添付書類については、標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る基準類改正に伴う記載の変更はないと考えている。

○添付書類六の「地震」及び「原子炉建屋基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価」の補正概要を以下に示す。

目次 (案)	補正内容 (案)
<p>泊発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類六</p> <p>7 原子炉設置変更許可申請に係る気象、地盤、水理、地震、社会環境等</p> <p>7.4 地震</p> <p>7.4.1 基準地震動の策定方針</p> <p>7.4.2 敷地周辺の地震発生状況</p> <p>7.4.3 活断層の分布状況</p> <p>7.4.4 地震の分類</p> <p>7.4.5 敷地地盤の振動特性</p> <p>7.4.6 基準地震動</p> <p>7.4.6.1 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動</p> <p>7.4.6.2 震源を特定せず策定する地震動</p> <p>7.4.6.3 設計用応答スペクトル</p> <p>7.4.6.4 設計用模擬地震波</p> <p>7.4.7 基準地震動の超過確率の参照</p> <p>7.4.7.1 地震ハザード評価方法</p> <p>7.4.7.2 地震ハザード評価による超過確率の参照</p> <p>7.4.8 参考文献</p> <p>7.5 原子炉建屋基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価</p> <p>7.5.1 原子炉建屋基礎地盤の安定性評価</p> <p>7.5.2 原子炉建屋周辺斜面の安定性評価</p>	<p>7.1 気象, 7.2 水理, 7.3 地盤, 7.6 津波, 7.7 火山, 7.8 社会環境, 7.9 生物については, これまでの申請より変更なし</p> <p>申請時に『震源を特定せず策定する地震動』として評価していた加藤ほか(2004)に基づく地震動に加え, 標準応答スペクトルに基づく地震動を追加 標準応答スペクトルに基づく地震動を追加 標準応答スペクトルに基づく地震動を追加</p> <p>標準応答スペクトルに基づく地震動と敷地における地震動の一樣ハザードスペクトルとの比較検討を追加</p> <p>申請時に評価していた解析断面, 解析モデル, 解析手法等にて, 『震源を特定せず策定する地震動』として新たに評価した標準応答スペクトルに基づく地震動を用いた基礎地盤安定性評価を追加</p> <p>申請時に評価していた解析断面, 解析モデル, 解析手法等にて『震源を特定せず策定する地震動』として新たに評価した標準応答スペクトルに基づく地震動を用いた周辺斜面の安定性評価を追加</p>

赤字：補正項目および補正内容 (案)